

6. 10/13(月・祝)

トレイルO(TempO・テンポ) 競技情報

【TempOの基本情報】

主管:NPOトレイルO協会

協力:愛知OLC、つるまいOLC

競技責任者・コースプランナー 山口尚宏、伴毅

コントローラー 櫻内保幹

【TempOの流れ】

一会場到着後

- 会場到着までは、併設大会プログラムの「2. 会場案内」を参照ください。受付は体育館横となり、10/11・10/12と異なります。
- 受付でコントロールカードを受け取ってください。事前申込者のスタート時間は事前に指定します。変更希望の場合は、受付にお越しください。調整します。
- 当日申込10:30～12:30(学生1500円、社会人2000円、高校生以下700円)で、スタートは11:00～11:30か12:32～12:45です。
- TempOの初心者説明用コントロールを、会場付近とスタートへの途中に設置し、競技方法を書いた紙を置いておきます。トレイルO・TempOの未経験者は必ず確認してください。

一スタート

- スタート地区は本部・受付から係員の指示で進んで徒歩5分。
- スタート時刻1分前になったらスタート枠に入ってください。スタート時刻になったら係員の指示で、ステーション1に進んでください。スタートでの配布物はありません。遅刻時は受付に一度戻り新しいスタート時刻に変更してください。
- スタート閉鎖時刻は12:45です。それ以降は出走不可です。

一競技中

- 各ステーションには待機地点があります。次のステーションで競技中の場合、看板のある所で止まって下さい。係員の指示があったらステーションに進んで下さい。
- ステーションに到着したら椅子に座ってください。地図が渡されます。まだ表紙をめくらないでください。
- 係員の合図と同時に表紙をめくり、地図を見てコントロールに回答してください。合図と同時に計時が始まります。
- 地図は1コントロールにつき1枚。各ステーション3コントロールで地図は3枚となり、地図を順番にめくり、全てのコントロールに回答してください。
- 制限時間は1ステーションあたり90秒。70秒経過時に係員から残り時間20秒の警告あり。制限時間を経過して未回答のコントロールは回答無しとなります。
- 最終ステーション終了後は、誘導にそって会場に戻り、受付にCCを提出してください。

一コース情報

●コントロール数

5ステーション×各ステーション3コントロール＝合計15

- 距離は1km以下、通常15～20分程度で競技が終了。
- コースは、係員の指示に従い道をたどってください。(誘導はありません)

一コースプロフィール

トレイルOのトレインは公園内の見通しが良いエリアで、人工的

特徴物と自然的特徴物からなり、タイムコントロール形式の瞬時の判断が問われます。路面は全て舗装されています(車椅子トイレあり)。

一地図情報

- 縮尺1/4000 等高線間隔2m 透視可能度3段階 A5縦
- JSSOM2007準拠(スプリント競技用地図をベースに、部分的にTempOに修正したものを使用)
- 地図は競技者の視線の方向にあわせ、正置された方位となっています。
【例】フラッグ群を西向きに見る場合、西が地図の上。
- 特記事項 岩がけ・岩は、1mより低くても目立つものを記載

一回答方法

- 回答は、正しいと思うフラッグを選び口頭で回答。
- フラッグは左からA,B,C…で、正解無し(Z)の可能性もあり。
- 口頭回答の方法は次の通り。地図にも明記していますので、覚えられない方は地図を見て回答してください。
Aが正解:アルファ/ Bが正解:ブラボー/
Cが正解:チャーリー/ Dが正解:デルタ/
Eが正解:エコー/ Fが正解:フォックストロット/正解無し:ゼロ
- 成績は、各ステーションでの所要時間の合計に、誤解答によるペナルティタイム(1コントロールあたり30秒)を加算し、その合計が少ない者が上位。

一フィニッシュ後

- 競技終了後、正解表を受付でお渡しします。未出走の選手には絶対に見せないで下さい。
- 調査依頼(提訴)は受付に提出してください。

一表彰

- 各クラスの上位3名を表彰(当日申込者も表彰対象)。
大学対抗戦 各大学の上位3名の合計点で1～3位。
副賞として、優勝校には世界選手権イタリアのお土産を進呈
個人 学連加盟員1～3位
- 表彰式は、13:15頃から行います。
- 事前申込の上位10名は2014年度全日本トレイルO選手権(11月8日埼玉県)のEクラス出場権が与えられます(JOAトレイルO委員会にて発表済)。
2015年世界選手権日本代表の選考成績になる可能性があります(JOAトレイルO委員会にて今後公表)

一競技規則など

- 日本トレイルオリエンテーリング競技規則(JOAweb掲示)
+タイムコントロール新方式の前倒し実施について(同上)
- 不適用条項 地図セットは上面が綴られた1種類とさせていただきます(綴られていない地図セットはなし)。回答は口頭のみとします。計時はストップウォッチで行い、1名もしくは2名の役員で掲示します。

～TempO について～

TempO（テンポ）は、地図と地形を対応させる速さを競う競技です。競技形式としてはトレイルOのTC（タイムコントロール）とほぼ同じで、大きな違いは正解なし（正しいフラッグが無い）が回答となる可能性がある点です。

スタート後は地図は受け取らず、コースは全て誘導で、途中にフラッグ群（ステーション）がいくつかあり、そこでTCのような地図が渡されます。複数のフラッグが狭い範囲に設置されていて、その中から円の中心と位置説明に合う正しいフラッグを選びます。回答までに要した時間が成績となり、速い方が上位となりますが、誤回答をするとペナルティタイムが加算されます（ここまではTCとほぼ同じ）。

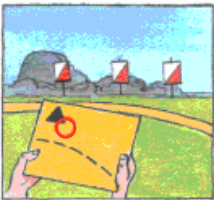
1つのステーションにつき問題（コントロール）が3～5個あり、自分で地図をめくりそれらを連続して解き、解き終わったら誘導に沿って次のステーションへ向かいます。通常のトレイルOと異なり、瞬時の地図読みと判断が競技の醍醐味です。

TempO 練習用の外部サイト（英語）

<http://www.trailo.it/Presentazione.asp> 練習問題

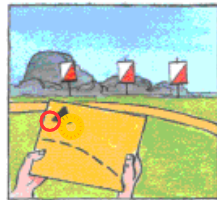
<http://www.yq.cz/trail-o/TempO/> 過去の主要大会

1 枚目【正解A】



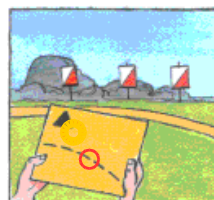
2 枚目【正解Z（なし）】

※岩の左側にフラッグなし



3 枚目【正解Z（なし）】

※道にもフラッグなし



～トレイルO 開催にあたり～

山口尚宏（競技責任者、2014年世界選手権テンポ決勝進出7位）

この大会は学生皆さんに、国内トップレベルのトレイルO競技を体験して戴き、世界に通じるトレイルOの競技者に育てて欲しい。地図を正確に読むという事、フットOにない別の面白さを体感してもらいたい。という思いを込めて開催します。種目は、2013よりトレイルO世界選手権の1種目となったテンポ(TempO)です。

毎年おなじみ学校対抗の団体戦もあります。また優勝者にはメダルを授与致します。是非、この機会にトレイルOに挑戦してください。どうしても、走りでは勝てない君、トレイルOなら学生1位になれるかも？ 女性、男性関係なく、体力差も関係なく、地図読み力で勝負です。